

お客さまで賑わう会場



小春日和の続く十一月三日、美術の殿堂である東京・新橋の東京美術倶楽部において、全国刀剣商業協同組合は第32回「大刀剣市」を開催しました。第一回からご後援を頂いている産経新聞社ならびにフジサンケイビジネスアイの両社には心より感謝申し上げます。会期の三日間で延べ二六六七名のお客さまにご来場いただきました。誠にありがとうございました。

さて例年のことながら、大刀剣市を開催するまでにはさまざまな準備をしなければなりません。六月に大刀剣市実行委員会を立ち上げると、後援等の依頼、カタログ掲載品の写真撮影、広告宣伝の原案作りと折衝、会場の設計、特別展の企画、カタログ制作の各作業、愛宕警察署への事務手続き等々、担当の理事と実行委員が五カ月にわたって手弁当で職務に当たりました。

八月の事前説明会には大半の出店者が出席し、注意事項を厳守していただきました。おかげさまで何の事故もなく終えることができました。

今回初めての試みとして、公益財団法人日本美術刀剣保存協会主催「現代刀職展」と、公益財団法人日本刀文化振興協会主催「日本刀の匠たち」両コンクールの上位入賞作品を四階特設ブースにて同時に展示させていただきますました。新作刀の迫力

や研磨技術の醍醐味はご来場のお客さまに強くアピールしたのではないかと考えます。

同じ四階では全日本刀匠会による恒例の銘切り美演や小品展示が行われ、人気を博していました。

今回の「我が家のお宝鑑定」は会場造作を充実させて臨みましたが、やはり多くの名品や珍品をお持ちいただき、その鑑定結果に皆さんは一喜一憂されていました。

当組合では、産経新聞社が提唱して設立された先天性心臓病などに苦しみながら経済的事情を抱える子供や家族を支援する「明美ちゃん基金」に賛同し、第一回の大刀剣市から浄財を募ってきました。今年も会場に募金箱を設置してご来場者や出店者に呼びかけを行いました。頂きました浄財は基金に寄託させていただきます。

大刀剣市は組合員の皆さまの共同事業ですので、各々が実行

委員になったつもりで参画していただき、一層の充実を図り、世界に誇れる大刀剣市になっていかなければならないと思えます。次回の第33回大刀剣市は同じ日程の十一月三日を予定しています。本年同様、よろしくお願ひします。(大刀剣市実行委員長・清水儀孝)

今回の「大刀剣市」では、フロア内特設ブースにて初めて、公益財団法人日本美術刀剣保存協会の「現代刀職展」と、公益財団法人日本刀文化振興協会の「日本刀の匠たち」両コンクールの上位入賞作品(作刀・研磨各三振)を同時に展示した。さすがにどれも高い評価を得た作品らしく迫力と気品があり、思わずケース前に身を乗り出して熱心に見入る来場者も多く、会場内でもひととき注目を集めていた。

このような機会は愛刀家にとってはもちろん、わが組合にも貴重であり、斯界の今後の発展につなげていきたいところである。

なお自然災害が多かった昨年、出展の中には、現在の所有者が河川の氾濫に遭いながら辛うじて安全が確保されたものもあったという。自然災害の怖さとそれを守る愛刀家の心を強く感じた。

両団体別の展示品の作者は以下の通り(カッコ内は各コン

クールの受賞者。

「日刀保」(作刀)北川哲士(高松宮記念賞)・高見一良(薫山賞)・小宮治氣(寒山賞) (研磨)松村壮太郎(木屋賞)・平井隆守(竹屋賞)・諸富剛(千葉賞)「刀文協」(作刀)河内一平(経済産業大臣賞)・明珍裕介(長野県知事賞)・上山陽三(金賞第1席) (研磨)水田吉政(文部科学大臣賞)・阿部聡一郎(金賞第1席)・倉島一(金賞第2席)

(伊波賢一)

「現代刀職展」「日本刀の匠たち」上位入賞作を同時展示

「現代刀職展」「日本刀の匠たち」上位入賞作を同時展示

「現代刀職展」「日本刀の匠たち」上位入賞作を同時展示

「現代刀職展」「日本刀の匠たち」上位入賞作を同時展示

「現代刀職展」「日本刀の匠たち」上位入賞作を同時展示

令和元年「大刀剣市2019」を開催 新作刀・研磨コンクール上位入賞作も初展示

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



2020.1.15 No.51
 発行人 深海信彦
 発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
 新宿スカイプラザ1302
 TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
 http://www.zentoshoh.com/

第51号編集担当 赤荻 稔 飯田 慶雄
 伊波 賢一 大平 岳子 大平 将広 嶋田 伸夫
 清水 儀孝 生野 正 瀬下 明 土子 民夫
 網取 謙一 土肥 富康 服部 暁治 深海 信彦
 松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏



盛会だった刀文協設立10周年記念祝賀会

日本刀文化振興協会が 設立十周年記念祝賀会を開催

去る十二月六日、公益財団法人日本刀文化振興協会(柳井俊二会長・吉原国家理事長)の設立十周年記念祝賀会が永田町の憲政記念館において開催された。日本刀文化の振興とその内外への普及を目的として設立され、平成二十一年に公益認定された同協会は、この間、刀職者に

対する各種研修会を開催し、伝統技術の継承と人材育成を旨とする文化庁事業である「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」や「刀剣類の保存に関する部分修復技術研修会」を実施、啓発普及のための公開鑑賞会や「新作日本刀研磨外装刀職技術展覧会」の開催、さらには昨今「現代刀」の偽物が出回り国内外で問題化している状況に鑑み、「新作日本刀証明証」の発行を開始するなど、着実な歩みが続けてきた。

当日は「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」の先生方をはじめ、業界内外から百七十人を超える来賓が一堂に会し、わが全国刀剣商業協同組合からも深海理事長はじめ理事ら十一名がお祝いに駆けつけた。

(飯田慶雄)

銀座日本刀ミュージアム
泰文堂
 〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-16
 岩月ビル2階
 株銀座泰文堂 代表 川島貴敏
 TEL 03-3289-1366
 FAX 03-3289-1367
<http://www.taibundo.com>

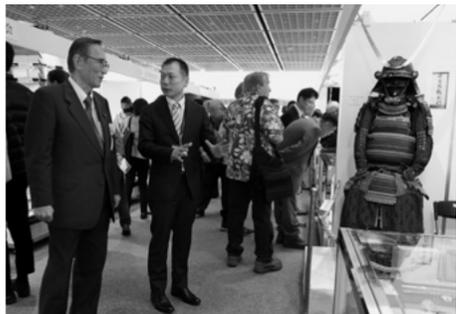
刀剣 高吉
 古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!
 連絡先 090-8845-2222
 代表者 高島吉童
 東京都北区滝野川7-16-6
 TEL 03-5394-1118
 FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

刀剣・書画・骨董
和敬堂
 土肥豊久・土肥富康
 〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
 TEL 0258-33-8510
 FAX 0258-33-8511
<http://wakeidou.com/>

町田久雄
 三峯美術店
 刀剣古美術
 〒169-0088 東京都新宿区大久保1-16-1
 西武秩父駅連絡通路町久ビル内
 TEL 03-3205-0601
 FAX 03-3205-0089

大阪刀剣会
吉井唯夫
 美術刀剣、小道具、武具類の
 売買、加工及び御相談承ります
 大阪市中央区日本橋二丁目一
 TEL 06-6631-1211
 FAX 06-6644-5464

撮影/トム岸田・冥賀明子



刀剣連共同代表の細田博之議員もお見えになった



お客さまが受付に殺到



オープニング前の朝礼で意思一致を図る



会場は例年の東京美術倶楽部

「我が家のお宝鑑定」に参加して

今年も「大刀剣市」の催事として、恒例の「我が家のお宝鑑定」が三日間実施されました。

今回は会場のスペースが広くなり、レイアウトも一新されて雰囲気ガラリと変わり、新たな気持ちで取り組むことができました。中村榮次氏、天野智弘氏と私赤荻が現場を担当し、事務局の有山さん・濱崎さんにサポートしていただきました。

鑑定に関しては例年通り、深海理事長はじめ「刀剣評価鑑定士」資格を持つ理事全員が時間制で対応しました。

今回の受付件数は三日間で六十五件と、ここ数年では最も少ないものでした。ちなみに昨年は七十九件でした。

十月に未曾有の台風と大雨の被害が各地で発生し、その後遺症が長く続くことが危惧されましたが、大刀剣市にもその影響はあったように感じます。

今回の参加者の傾向をデータから見ると、半数近い三十件が毎回参加ということでビックリ。これをどう捉えるべきか……。

続いている参加動機は、紹介、インターネット、案内ハガキの順でした。

年々外国からの来訪者が増えている印象があります。

初日は特に外国人が多く訪れ、鑑定員に熱心に質問していました。が、今回初登場の助っ人・天野氏に通訳を依頼し補助してもらいました。職務とは言え、三日間を通して天野氏の英語力には、いぶんと貢献していただいたことを付記しておきたい。

今年も全体的に平穏な感じではあった。希望者が同時時間帯に集中することもなく、当番理事の交代も比較的スムーズに行っただと思います。

設立十周年記念祝賀会 開催のご報告と御礼

公益財団法人日本刀文化振興協会 理事長 吉原 國家

公益財団法人日本刀文化振興協会が公益法人の認定を受けてから十年、設立を記念して去る十二月六日、憲政記念館において厳粛な中にも盛大に祝賀会が開催されました。ご報告申し上げますとともに、長い間ご支援くださいましたすべての皆さまに、衷心より御礼申し上げます。

当日は、刀剣界からはもとより「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」から重鎮の細田博之衆議院議員はじめ多くの国会議員の皆さま、文化庁長官を務められた近藤誠一様、初代会長の徳川康久様など多数の来賓にもご出席賜りました。また昨今の刀剣ブームを反映してか、若い刀剣ファンの方々のご出席も多数見られ、嬉しい限りでした。

設立以来、慣れない事務作業や資金繰りに直面した時、「とにかく十年は続けよう」「展示会は十回はやろう」など合言葉のようにして自らを鼓舞していたことが思い出されます。

作品を作るだけの私たちが、また当然それだけでよいと信じ込んでいた私たちが日本刀の普及と啓蒙の現場に立った時、これまでは限られた価値観の中だけではなされていなかったこと、いかに多くのものを取り残されているのかを思い知らされた十年でもありました。

幸いなことに行政各方面の支援を受け事業を展開できたことも、その取り残されたもの一つ一つに丁寧に向き合えたきっかけになったのではないかと思います。これほど多く行政の支援を頂いたことは、これまでの刀剣界ではきわめて稀なことでもあり、私たちの団

体・活動が一定の評価を得てきた証左であると自負するところでもあります。

これからの十年に向け、私たちは態勢を整えております。たくさん課題を抱えてはおりますが、百七十名を超える皆さまのご出席が「日本刀のためにやることは、まだまだたくさんあるよ」と背中を押してくれているようです。

今後とも多くの皆さまのご理解とご支援を、心からお願ひ申し上げます。

祝宴の準備はできている 「今日は一日、笑顔でお客さまをおもてなししましょう」 祝賀会直前の打ち合わせで、実行委員の皆さまに伝えたいのは、ほとんどそれだけだった。準備は十分にできた。何より頼もしいのは、実行委員たちは、日本刀文化振興協会の創立以来、さまざまな式典や会合で、受付・事務・裏方を経験してきた方たちばかりで安心して任せられることだ。

永田町にある「憲政記念館」へ下見に行き、実行委員長を仰せつかったのが八月末。祝賀会の日は十二月六日金曜日午後三時と決まっていたが、年末の金曜日、しかも屋敷に人が来てくれるのだろうか。一抹の不安を感じつつ、関東在住の若手会員に声をかけ、実行委員会を立ち上げることになった。

たのではないだろうか。 今回の祝賀会では、創立からこれまでご支援いただいた皆さまに、当協会らしく感謝の気持ちを伝えたいということで、三つの企画を用意した。

一つは刀職者会員がそれぞれ得意分野で小品を制作し、ご来場いただいた皆さまにプレゼントしようというもの。例えば、刀鍛冶が制作した小刀を、研師・白銀師・鞘師が忙しい中、時間を割いて作品に仕上げてくださいましたものが九点、金工のアクセサリー類が数十点。出席いただいた方全員にお渡しできる数が集まった。役員である漫画家かまたきみこさんサイン本も、多彩な人材を擁する当協会らしいプレゼントになったと思う。

祝賀会後半に行ったプレゼント発表では、吉原国家作の小刀を作者本人から受け取った女性が、感動のあまり涙ぐんでいたのを見てこちらまで胸が熱くなった。

二つめは、十年の歩みを十分ほどのアーカイブ映像にまとめ、会場でご上映するものだ。ご招待のお客さまや新しい会員の皆さまにも、成り立ちや理念を知っていただくには、言葉だけでは伝わりにくいと思う。協会立ち上げから公益財団法人に認定されたこの映像を見て、懐かしさを感じる役員も多かった。また運営の苦労を語る宮入小左衛門行平前専務理事のインタビューは、実行委員の一人である堀薫子氏のアイディアであり、成功だったと思う。

映像編集や祝賀会当日の動画、音声オペレーターとして

ご協力いただいた株式会社 NITUM 久保山梨恵氏に心から感謝申し上げます。 三つめは、当協会の特徴とも言える一流刀職者の作品展示である。 まずは三名の人間国宝作品。初代理事長であった刀匠天田昭次氏の協指、名譽理事本阿彌光洲氏が研磨された正宗短刀、金工桂盛仁氏の二所物。さらに文部科学大臣賞、経済産業大臣賞を受賞した作品、太刀拵、打刀拵、鐔など合計十作品の展示は見応えがあり、楽しんでいただけたようだ。

当日は午前十一時三十分、会場前ロビーに実行委員集合。午後一時には役員も全員揃い、午後二時三十分の受付開始までの準備を進めた。十分後に祝賀会場オープン。午後三時、宮島宏専務理事の開会の辞により設立十周年記念祝賀会が開会となった。

祝賀会は文化庁の皆さま、刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟の皆さま、公益財団法人日本美術刀剣保存協会、全国刀剣商業協同組合からも多くの方々にご出席いただき、盛会のうちに吉原国家理事長の中締めとなった。

これまでの十年を支え、未来に期待して下さっている皆さま、祝賀会にご協力いただいた皆さまに、心から感謝申し上げます。(日本刀文化振興協会十周年記念祝賀会実行委員長・川崎昂平)



乾杯の発声に臨む刀剣議員連盟の皆さん



刀文協の役員・関係者が一堂に会して

刀剣業界の情報紙である『刀剣界』では、記事を募集しています。ニュースや催事情報、イベント・レポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただくことがあります。



本日のお弁当を品定め



休憩所では刀剣談議に花が咲く



刀匠の銘切りコーナーにもファンが訪れて



「我が家のお宝鑑定会」の鑑定風景



ギャラリー翠篠の店頭風景

「大刀剣市2019」に初めて参加させていただきました。店名の「翠篠」というのは折れない竹という意味で、皇学館大学名誉教授の恵良宏先生より頂戴しました。鎌倉に小さな事務所を構えています。

私は昭和五十五年生まれで、もともとは岐阜県出身です。中学を卒業してカナダとイギリスに留学し、音楽を専攻していました。祖父が秋田県の軍人で、海軍兵学校卒、天皇陛下より勲四等を授かり、私は生粋の愛国主義の元で育ってきたと自負しています。

父は大の刀好きで、私も幼少のころから刀には親しみがあります。刀剣商であった父は、今は脳幹出血で寝たきりなのですが、病床にはいつも愛刀の親国員を置いています。業界へは深海理事長が入ってくれたのだと父から聞いています。

初めての「大刀剣市」

村上竜太 (ギャラリー翠篠)

「大刀剣市2019」に初めて参加させていただきました。

「大刀剣市」に初めて参加させていただきました。店名の「翠篠」というのは折れない竹という意味で、皇学館大学名誉教授の恵良宏先生より頂戴しました。鎌倉に小さな事務所を構えています。

私は昭和五十五年生まれで、もともとは岐阜県出身です。中学を卒業してカナダとイギリスに留学し、音楽を専攻していました。祖父が秋田県の軍人で、海軍兵学校卒、天皇陛下より勲四等を授かり、私は生粋の愛国主義の元で育ってきたと自負しています。

父は大の刀好きで、私も幼少のころから刀には親しみがあります。刀剣商であった父は、今は脳幹出血で寝たきりなのですが、病床にはいつも愛刀の親国員を置いています。業界へは深海理事長が入ってくれたのだと父から聞いています。

刀の交換会には十五年ほど前から素人枠で参加させていただき、充実した日々を送っています。普段は刀剣の売買のかたわら、長年お付き合いをさせていただいている心優しいお客さまからの依頼を受け、全国で企画されるさまざまな刀剣の展示イベントの、簡単なお手伝い等を行っています。

その一部を紹介すると、今年で四回目になりますが、日本刀の啓蒙活動の一環として奈良県の薬師寺で毎年二月から四月ごろまで

「大刀剣市」は、盛会のうちにその幕を閉じました。裏方として毎年の開催を支える実行委員会(清水儀孝委員長)について、活動の一端を知っていただきたく、あらためてご紹介したいと思います。

今回の実行委員会は6月に立ち上がり、委員には組合役員全員と組合員有志が選ばれました。それから催しが終了する11月までの約半年間、ただただ成功に向けて委員が一丸となります。前年を振り返ってさまざまな検討が行われ、新しい試みも加えられていきます。

多岐にわたるルーティンの中で、「夏の陣」と称される図録(カタログ)の制作においては、掲載する品物の撮影から最後の校正まで、息の抜けない攻防戦が繰り返されます。その都度、お店を閉めて手伝いに来られる委員もいます。図録は出店者の販売戦略上の重要なツールですから、少しの間違ひも許されません。委員は気

古銭・切手・刀剣 売買 評価鑑定
株城南堂古美術店
 代表
田中勝憲
 〒153-0051
 東京都目黒区上目黒四-1-11-10
 TEL 03-3711-0167
 03-3711-0167
 FAX 03-3711-0167

まだ勉強を始めたばかりの身で、商売には不慣れなところがございいます。にもかかわらず、二日目は前の晩の飲み過ぎで遅刻をするという大失態を犯してしまいました。憧れ、尊敬している真玄堂の高橋さんにそれがすぐにバレ、優しく叱っていただき、非常に嬉しかったです。

大刀剣市、私は商売的には決して満足とは言えない結果に終わりましたが、今年の反省を生かし、立派な刀剣商になれるよう、これから真面目に頑張っていきたいと思っています。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

その様子を近くで見ていると、刀に宿るその霊的ともいえる力というか、神秘的な魅力に感動を覚えます。(余談が長くなりました)今年も大変な賑わいを見せた大刀剣市でした。とても良い経験させていただき、関係者の皆さまには、大変感謝しています。

「大刀剣市」は、盛会のうちにその幕を閉じました。裏方として毎年の開催を支える実行委員会(清水儀孝委員長)について、活動の一端を知っていただきたく、あらためてご紹介したいと思います。

「大刀剣市」
 実行委員の
 つぶやき

第32回「大刀剣市」は、盛会のうちにその幕を閉じました。裏方として毎年の開催を支える実行委員会(清水儀孝委員長)について、活動の一端を知っていただきたく、あらためてご紹介したいと思います。

今回の実行委員会は6月に立ち上がり、委員には組合役員全員と組合員有志が選ばれました。それから催しが終了する11月までの約半年間、ただただ成功に向けて委員が一丸となります。前年を振り返ってさまざまな検討が行われ、新しい試みも加えられていきます。

多岐にわたるルーティンの中で、「夏の陣」と称される図録(カタログ)の制作においては、掲載する品物の撮影から最後の校正まで、息の抜けない攻防戦が繰り返されます。その都度、お店を閉めて手伝いに来られる委員もいます。図録は出店者の販売戦略上の重要なツールですから、少しの間違ひも許されません。委員は気

海外支部の会員は、国内の会員と違い各国に分散しているため頻りに集まるのが難しいにもかかわらず、年に一度大々的にシンポジウムを開催しています。一八年はオランダのライデンで、一九九年はアメリカのニューヨークで開催

海外では多くの人が日本に興味を持ち、外国人観光客も年々増加している昨今ですが、日本甲冑はその見聞から非常に興味を持たれるようです。

日本に関心を持つ多くの外国人の中には、真面目に日本甲冑について研究・勉強したいという方もおり、まよという目的で、二〇一七年、私たち(一社)日本甲冑研究保存会では、ベルギー在住のルック・ターマン氏を支部長として海外支部を立ち上げました。現在アメリカやヨーロッパの国々を中心に七十三人の会員が在籍しています。

私たち日本人が「見聞」としてしまいがちな美術品としての価値や、武器としての機能性を外国人ならではの視点で日本甲冑に見だし、多くの人に紹介する活動を行っている会員もいます。また、海外で日本甲冑をコレクションしている人たち向けに甲冑を良好な状態で保存するための方法や修復に関する助言も海外支部は行っています。日本甲冑に関する出版物のほとんどが日本語のため、これらを翻訳する作業のほか、江戸時代に出版された甲冑に関する書物を翻訳して出版するなど精力的に活動しています。

「明美ちゃん基金」に刀剣商業組合が寄付

全国刀剣商業協同組合(深海信彦理事長)は13日、重い心臓病の子供たちを支援する「明美ちゃん基金」(産経新聞社提唱)に20万円を寄付した。写真(萩原悠久人撮影)。

寄付金は、11月1〜3日に港区新橋の東京美術倶楽部で開かれた日本刀や武器などの展示即売会「第32回大刀剣市2019」に出店した組合各店と入場者から寄せられた。

伊波賢一理事長は「基金への寄付も32年目。多くの子供たちが助かってうれしい。刀剣界も若い女性まで愛好家の裾野が広がっており、今後も寄付を続けていきたい」と話した。

海外では多くの人が日本に興味を持ち、外国人観光客も年々増加している昨今ですが、日本甲冑はその見聞から非常に興味を持たれるようです。



2019年シンポジウムにおける参加理事の講演



「明美ちゃん基金」に刀剣商業組合が寄付

海外では多くの人が日本に興味を持ち、外国人観光客も年々増加している昨今ですが、日本甲冑はその見聞から非常に興味を持たれるようです。

海外では多くの人が日本に興味を持ち、外国人観光客も年々増加している昨今ですが、日本甲冑はその見聞から非常に興味を持たれるようです。

海外では多くの人が日本に興味を持ち、外国人観光客も年々増加している昨今ですが、日本甲冑はその見聞から非常に興味を持たれるようです。

海外では多くの人が日本に興味を持ち、外国人観光客も年々増加している昨今ですが、日本甲冑はその見聞から非常に興味を持たれるようです。

甲冑の話題

(二社)日本甲冑研究保存会

刀 剣 界

質問箱

第四回・新々刀その一

回答者 ● 冥賀 吉也



新々刀に関する質問が多く寄せられています。そこで二回に分け、代表的な質問に答えながら、新々刀全般にわたって説明していきたいと思います。

◎水心子正秀が新々刀の祖と言われる理由について

その理由は三つあると考えられます。

- ①復古刀を唱えたこと。
- ②鍛刀に関して自分で会得した鍛錬方法を秘傳せずに弟子にわかりやすく教え、かつ公開し、また多くの書物を著し、全国に復古鍛法を流布させたこと。
- ③多くの門人を育て、さらにその弟子たちの元から名工が輩出し、新々刀期に大きな影響を及ぼしたこと。

次に水心子正秀がなぜ「復古刀」を唱えたかの理由についてですが、その二つには当時の風潮が大きく影響していたと考えられます。寛政のころ、時の老中松平定信は復古主義的な思想を持つよ

うになり、世の中全体が復古主義になっていきました。『集古十種』が発刊されたり、甲冑なども鎌倉時代のもを模倣するようになりまし

た。そのような風潮の下、刀剣も水心子正秀によって、全て鎌倉時代ないし吉野時代の作刀法に復すべきであると唱えられたのです。

二つ目の理由は、当時、助広や真改のような華やかな乱れ刃が最も流行していたのですが、正秀は『刀剣実用論』の中で「助広に限らず大乱、大のたれ、広直刃…等鎧際まで刃深きは予が造りし物も又同様に折れ易し」と警鐘を鳴ら

し、日本刀は復古鍛法によるべきであると述べています。古刀製作技術を復興し、刀剣実用論を唱え、秘伝を書物によって公開したので

す。正秀の著作で主なものに『刀剣辨疑』『刀剣実用論』があり、『古今鍛冶備考』の中にある「鑄鍊鍛挫略弁」があります。ほかに『剣工秘伝抄』『鍛鍊玉函』などもあ

ります。多くの書物を著して復古刀を唱えると、全国の刀工たちが正秀の門を叩くようになりました。正秀門人の数は、『古今鍛冶備考』には七十九名、南海太郎朝尊の『新刀銘集録』では七十四名、正秀書簡には六十四名を挙げています。

さらに、正秀門人の双璧と言われる大慶直胤には門人十六名、細川正義には門人三十三名がおり、弟子および孫弟子を加えると総勢百二十〜百三十名の刀工がいます。

正秀門人の中には刀工のみでなく、身分の高い武士もいます。単なる門人として名を連ねているだけなく、実際に数多くの刀剣類を製作しています。例えば、

- ・井伊直中 彦根藩十三代当主 直弼の前藩主
- ・彦坂紹芳 旗本二〇〇石
- ・沼田有宗 直宗同人。熊本藩士六〇〇石
- ・松村昌直 熊本藩士三〇〇石
- ・榎原長良 旗本一六〇〇石

などがおられます。以上のように、新々刀期に大きな影響を及ぼした正秀は、祖と仰がれているのです。

◎新々刀はいつからいつまでを指すのか。その間の作風の変遷について

新々刀期の時代区分ですが、正秀は明和八年(一七七二)二十二歳の時に、短期間でしたが武州八王子に出て下原鍛冶の後裔宮川吉英について修業を積んでいま

す。一般的にはその翌年の安永元年(一七七三)から新々刀期とし、明治九年(一八七〇)の廃刀令までの一〇四年間を指しています。

その間の作風の変遷については、大きく次の四期に分けることができます。

- ①新々刀最初期 安永元年〜天明
- ②清瀾刃の時代 天明四、五年
- ③復古刀の時代 文化四、五年
- ④勤王刀の時代 安政元年〜明治三年の一五〜一六年間。

ただし、明確に分けられるものでなく、当然、両期にまたがっている作風もあります。あくまでも目安と考えてください。次に、おのの時代の特徴について述べることにしましょう。

①の時代は新刀期の流れを汲んでいる刀工たちで、それぞれの作刀期間が安永以降に及んでいるところから、新々刀に扱われている彼らの作風は変わることなく、従来通りです。

伯耆守正幸や大和守元平は薩摩刀独特の沸の粗い相伝を焼き、刃中に金筋・砂流しなどを盛んに交えた作風です。六代忠吉は肥前刀

独特の直刃を焼き、浜部寿格は句出来の拳形丁子乱れを焼き、それぞれに独自の作風となっています。安永六年(一七七七)当代の目利き鎌田魚妙が『新刀辨疑』を著し、その中で助広の清瀾刃を「旭瀾」と号して絶賛しました。その後も再版の都度、清瀾刃を絶賛して

いますが、作刀界においてすでに開花することはなく、五、六年を経て天明四、五年ごろ、ようやく清瀾刃の時代に入ってきました。

②の清瀾刃の時代は、特に寛政〜享和年間(約一五年間)が盛行期で有、文化の半ばごろから次第に減少し、文化十一年ごろを下限に全く見られないようになります。清瀾刃の盛行期には水心子正

秀・尾崎助隆・手柄山正繁が活躍し、後期には市毛徳隣・天童子正隆・加藤綱英、それに正秀の弟子の直胤や正義の最初期作にもわずかに見られます。

新々刀期の清瀾刃では、助広に近い刃文は助隆・綱英に見られますが、他の刀工は大互の目乱れや清瀾刃風といった感じで、おのおの特徴のある刃文です。

そもそも清瀾刃とは、大互の目の片方の傾斜が緩やかで、片側が急峻となる形状の刃文を言い、それがいかにも波濤を思わせ荒波がうねる様に似ているところからこの名がついており、助広が創始したものであります。

今回は各刀工の相違点について、刃文のみに触れてみましょう。新々刀の中で助広に近い刃文を焼いているのが、前述のように助隆と綱英です。

助隆：小沸出来で匂口が深く、乱れの谷が角張る特徴があり、全体に間延びした感じになります。綱英：匂口が締まり心に小沸の着いた清瀾刃で、谷の底がやはり角張り、匂口の締まった硬く見える飛焼が見られます。

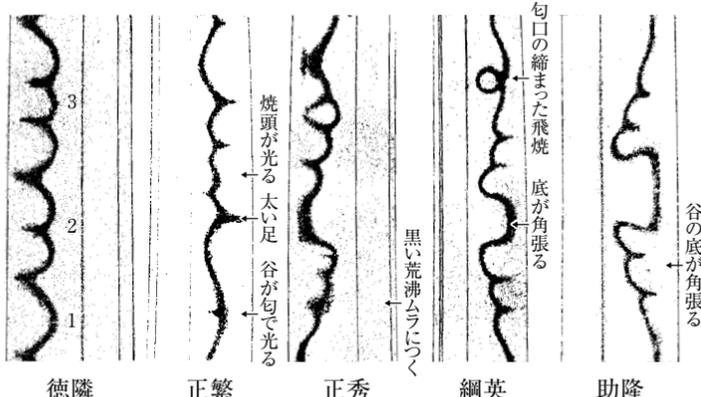
大互の目乱れが清瀾刃風になるのが正秀・正繁・徳隣などです。正秀：清瀾刃に大小の差が目立って揃わず、横手下辺りに黒い粗めの沸が刃中より地にこぼれてムラに現れる特徴があります。元の焼き出しが直調でかつ長いのも、大きな見どころです。また正秀には一竿子忠綱に似た感じの清瀾刃もあります。

正繁：互の目に大互の目が交じり匂足が力強く入り、焼頭や谷に匂で尖ったような尖り刃が交じります。また角張った刃なども交じり、刃中に砂流し入り、総体にややかたつ感じのする刃文で、匂が深く沸がよくつき匂口は明るく

透えています。徳隣：大互の目乱れを二つ三つと一定のリズムで焼いていきます。沸はムラなく均一によくつき、匂口は最も明るく透えています。【参考文献】『國學院刀剣』第三号、『江戸の日本刀』水心子正秀とその一門、『刃文と銘字(新々刀編)』『刀剣美術』ほか

※前号に誤植がありました。古京物の項で「包水」とありますが、正しくは「兼水」です。

氏名	年齢	時代	没年
伯耆守正幸	40	新々刀最初期	安永2
六代忠吉	37	新々刀最初期	天明2
大和守元平	31	新々刀最初期	寛政2
浜部寿格	28	新々刀最初期	天明2
水心子正秀	23	新々刀最初期	天明2
尾崎助隆	20	新々刀最初期	天明2
初代元興	20	新々刀最初期	天明2
手柄山正繁	20	新々刀最初期	天明2
市毛徳隣	20	新々刀最初期	天明2
大慶直胤	20	新々刀最初期	天明2
二代正秀	20	新々刀最初期	天明2
細川正義	20	新々刀最初期	天明2
加藤綱英	20	新々刀最初期	天明2
清瀾刃の時代	23	清瀾刃の時代	天明2
復古刀の時代	31	復古刀の時代	天明2
勤王刀の時代	40	勤王刀の時代	天明2



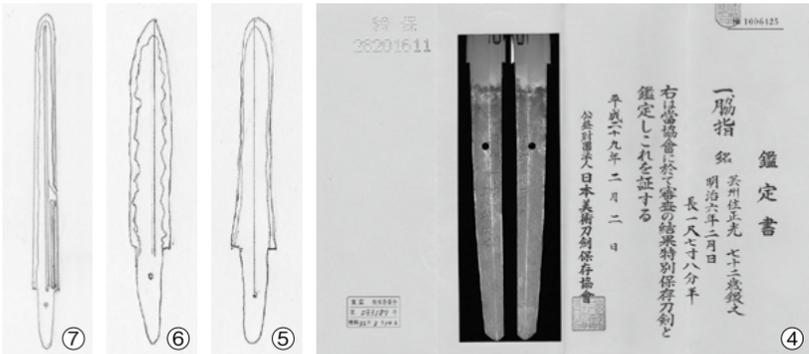
「登録証問題」を考える ②②

事例 ③③

今回取り上げる刀剣は、登録証の種別には剣①と表記されているのに、日刀保の鑑定書では脇指④と表記されており、種別が一致していないのです。持ち込まれた刀をあらためて見てみると、造り込みが切先両刃造りとなっており、登録証の種別が間違っていることがわかりました。

早速、東京都教育委員会に電話し、登録証の内容確認をしたところ、種別は「剣」で間違いはないとのことでした。結局、登録審査会に出向き、登録証の訂正を行いました。②③

東京都の登録でしたので、その場で訂正した新登録証を持ち帰ることができ、訂正再交付手数料も東京都の間違いとのことで無料となりましたが、訂正を受けるまで



の手続きと審査会に向く時間を考えると、昭和三十二年当時のミスを今さら引き受けなくてはならないことへの疑問を感じざるを得ません。

また、今回の刀剣についてはあらためて種別と造り込みについて確認させられるものでした。剣・両刃造り・切先両刃造りについて再度確認してみました。

種別「剣」は両刃で左右均斉である。⑤

種別「短刀」で両刃造り。室町中期以降の短刀に限られ、両刃であるが左右均斉でない。⑥

種別「短刀」脇指「一刀、太刀」で切先両刃造り。切先部分もしくは上半分のみが両刃である。平家重代の小烏丸がこの形である。また、幕末から明治にかけてもこの形が製作された。⑦

千葉県船橋市編

シヨウヤンの健脚商売 ②⑦

今日の俺の行き先は船橋。いつも交換会の小さい伝票の書き入れと、売買明細の入出力を担当してくれる仲村由佳さんを訪ねる。

というところは、わが組合に関連する女性はいくちか打止めたいな、なと思うている人は、いないよな。最終回のために大御所を温存しているんだよ、事務局の有志さんな!

あらためて競売の流れをおさらいすると、発句から始まり、セリ手が落札を認めると、通しが仲村さんらに種別・価格・落札者を伝える。しかし、時にS田理事の大声の冗談とざわめきに、通しの声がかき消される。その時、仲村さんの焦る様子さえ見せない乾いたトーンの確認の一言が一瞬その場を席巻する。毎回おしゃべりな仲

村さんはそんな時、会の主役たちの組合員を食ってしまいがち。八王子編で訪ねた大野千春さんと同じくレスリング選手だった仲村さんは、現役選手時代までさかのぼる十五年ほど前からわれわれの交換会を手伝ってくれているようになった。今は刀剣の交換会を優先してくるがゆえに、もう一つの仕事的美容院の受付業務はフレックスタイム制にしてくれている。そこまで貢献してくれているとは、ありがたや。

レスラーだった面影は今も全くなく、それどころか全く違う筋力が求められるランニングが休みの日の仲村さんの過ごし方。ホノルルマラソンは四度完走!と言えはその健脚さ、精神力の強さもうかがえよう。



船橋大神宮にて仲村由佳さんと

日本武尊が祈りを捧げたという千葉県屈指の古社、船橋大神宮で待ち合わせたが、大鳥居横のお店でカレーをパクパク食べる彼女は初めて会ったころより一回りスリムになり、何だか浩二さんと結婚したころのルリ子さんみたい。

この世の生ある多くのものにとって歳月とは残酷なものだろう、特に女性にとっては。しかし収穫、発酵、熟成などの時間もたらず喜びと同様、仲村さんは歳月を味方につけ素敵な大人の女性への街道を爆進走行中だ。一方、俺は千葉街道を東京へヨタヨタ走行中。

私が出会った珍品・逸品

石井理子(美術刀装具石井)

を見た瞬間に「紅葉賀だ!」と初々しい恋心のようなものを思い出した。そして、プロ失格だが、とにかく欲しくなりました。

恐る恐る値段を尋ねると、私の手に負えるではないか。数分後、私はこの小柄を握っていた。何故、こも心を奪われたのだろうか? こまごまの心模様に加えて、もうひとつ刀装具には語らねばならない魅力がある。それは、「留守図柄」と呼ばれるものだ。

この小柄もそうだが、西洋絵画でいうアトリビュート。つまり「持ち物」によってその人、その主題を表現するものだ。

冠と紅葉の一枚、これだけで「源氏物語の紅葉賀の帖で、青海波を舞う場面ね」と連想させてしまう。これを「引き算の美」と言うのだから。

極限まで絞りぬくことで逆に鮮やかにその姿を見せてしまう、その創意工夫を感じられるか試されているようだ。

ちなみに、この小柄はもう手元にはない。しばし私を楽しませてくれた。十分だ。ありがとう。

私の元での役目は終わった。今ごろは、好事家に愛玩されているだろうか。そうであればいい。心より願っている。

紅葉賀図小柄

私は、いわゆる名品や逸品というものに縁がなく今に至る。なので、今回のお題を頂いた時には正直なところ困った。しかし、いろいろと悩んだあげく「私の好きな一品に変換してしまおう。ほとんど舌肉の策どころかへらず口である。どうぞお許し頂きたい。そして、選んだのがこの小柄だ。赤銅魚子地に金と銀の色絵象嵌、裏は咄金だ。おそろく京金工あたりだろう。

画という、冠と紅葉の枝が挿し。「なんのこっちゃ?」だ。その正体は、源氏物語第七帖・紅葉賀である。主人公・光源氏が継母・藤壺への忍ばねばならぬ思慕の情を抱え、かの人に届けと言わんばかりに、袖をひるがえして青海波を舞う。

輝くばかりの美貌の貴公子、光源氏。その冠に挿されていた紅葉の枝すら褪せて見え、手折ったばかりの菊の枝に取り換えたほどだ。

私は高校生のころから、この場面を心ときめかせたまま大人になった。だから、この小柄



組合こよみ (令和元年9~12月)

- 9月5日 LEAGUE銀座B会議室において『刀剣界』第49号編集委員会を開催(再校)。出席者、深海理事長、伊波副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・網取常務理事・生野理事・持田理事・土子氏
- 9日 深海理事長と土子氏が「刀剣評価鑑定士」認定試験問題監修依頼のため警察庁を訪問
- 11日 同美印刷において「大刀剣市」カタログ編集委員会を開催(再校)。出席者、清水専務理事・嶋田常務理事・生野理事・服部一隆氏・土子氏
- 17日 東京美術倶楽部において組合交換会を開催。参加52名、出来高7,885,000円
- 17日 東京美術倶楽部において理事懇談会を開催。出席者、深海理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・網取常務理事・飯田理事・大平理事・猿田理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・真賀理事・持田理事・赤荻監事・大西監事
- 17日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第50号編集委員会を開催(企画)。出席者、深海理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・飯田理事・大平理事・瀬下理事・松本理事・真賀理事・持田理事・赤荻監事・土子氏
- 17日 東京美術倶楽部において「大刀剣市」カタログ編集委員会を開催(色校)。出席者、清水専務理事・嶋田常務理事・生野理事・土子氏
- 24日 濱崎事務局員が新宿警察署に代表者変更書類を提出
- 26日 同美印刷において「大刀剣市」カタログ編集委員会を開催(念校)。出席者、清水専務理事・嶋田常務理事・服部一隆氏・土子氏
- 10月8日 濱崎事務局員が新宿警察署を訪問、古物営業者・代表者変更完了
- 17日 東京美術倶楽部において組合交換会を開催。参加50名、出来高10,787,000円
- 17日 東京美術倶楽部において第3回理事会を開催。出席者、深海理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・網取常務理事・飯田理事・大平理事・猿田理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・真賀理事・持田理事・吉井理事・赤荻監事・大西監事
- 17日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第50号編集委員会を開催(初校)。出席者、深海理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・大平理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・真賀理事・持田理事・土子氏
- 25日 伊波副理事長と清水専務理事が愛宕警察署を訪問、市場主・代表者変更等書類と「大刀剣市」カタログを提出
- 28日 銀座長州屋において『刀剣界』第50号編集委員会を開催(再校)。出席者、深海理事長・

日本刀 販売 買取 委託

e-sword (株) e-sword (イーソード) 平子誠之

〒350-1115 埼玉県川越市野田町1-4-19 1F
TEL 049-246-6622 FAX 049-246-1407

http://www.e-sword.jp

日本刀 イーソード 検索

mail:info@e-sword.jp

歴史 探訪

大津事件で凶器となったサーベル

先日、知り合いのロシア人から「ロマノフ王朝最後の皇帝となったニコライ二世が皇太子時代に日本を訪れ、暴漢に遭った(大津事件)。その時の凶器となったサーベルとはどのようなものなのか」と問われました。

「大津事件」の概要は知ってはいたものの、凶器となったサーベルの刀身がどんなものなのか、全く知識がありません。入手できる情報も乏しいため、そのサーベルを収蔵する滋賀県立琵琶湖文化館に当組合の教育情報部会としてお願いして特別閲覧の許可を頂き、事件の起きた現場と同館をお訪ねしました。

滋賀県立琵琶湖文化館は昭和三十六年の開館で、これまでに多くの展示会を開催してきましたが、施設の老朽化により休館中です。現在は、同館の収蔵品の展示を他の博物館で行うとともに、貴重な



凶器となったサーベル

文化財の保管・管理等を引き続き行っています。

このサーベルは現在、他の大津事件関係資料とともに滋賀県文化財に指定されています。私は去る十一月七日に同館を訪ね、滋賀県教育委員会の古川史隆さんに案内していただきました。

明治二十四年(一八九一)ニコライ二世が東洋諸国の漫遊の途次、四月二十七日に長崎港へ到着します。初めて日本を訪れる皇太子を、明治天皇は国賓として迎えました。

長崎・鹿児島で盛大な歓迎を受けた後、海路にて神戸へ上陸し京都に來遊、五月十一日に京都から人力車で大津へ向かいます。大津遊覧を満喫し一行が帰路に着いた直後に、世界を驚かす重大事件は起きました。

滋賀県庁を出発した一行が京町通字小唐崎町まで進んできた時、



石標が事件現場を伝える現在の津市内

沿道警護のために立番していた巡查・津田三蔵が突然腰に帯剣したサーベルを鞘から抜き、人力車に乗るニコライ皇太子の頭部へ切り付けたのです。

右側の顔前方より後方に刃が光ると同時に、皇太子の悲鳴が上がりました。凶器は山高帽の縁を切り裂き、さらに傷は長さ九センチに及んで骨に達し、骨片の一部を切り取りました。車を飛び降りて振り向く皇太子へ、三蔵は再び迫りもう一振り切り付けます。額下部に当たり、七センチの長さで骨膜まで達しましたが、幸いにも軽傷でした。

三蔵は明治十年に勃発した西南戦争へ政府軍として参戦し、激戦を経験した上、叙勲されるほどの強者であったので、皇太子がこれだけの傷で難を逃れたのは不思議なくらいでした。

サーベルの中身は長さ五七センチ、反り一・四センチ、目釘穴一個、大磨上げ無銘の脇指で、物打ち辺に一方所大きな刃こぼれがあります。

三蔵はニコライ皇太子の頭部へ二回切り付けた後、人力車の車夫に後ろから両足を捉えられ、うつ伏せに倒され、その時サーベルを地面に落として刃こぼれができたと思われ

ます。別の車夫がそのサーベルを拾い上げ、三蔵の後ろから頭部と背部に切り付け、皇太子以上の傷を負わせました。

刀身は現在も当時のままのサーベル拵に納まっており、刀身全体が

錆びているために地鉄や刃文は見えませんが、鎧が低く鎧筋が判然と見えます。鎧が低く鎧筋が判然と見えますが、実戦の目的で研磨に精通しない者が研いだ節が伺えます。鐔に滋賀県の文字と番号が刻印されているところから、明治十六年より下級巡査も帯剣できる法改正後の官給品ではないかと考えられます。

NEWS & TOPICS

自民党本部で「刀剣議連」総会開く

十月三十一日、自民党本部会議室において「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」の総会が開催された。当日は国会の会期中とあって多忙な日程にもかかわらず、多くの議員が出席、関係団体からも参加して熱心な議論が行われた。

文化庁の担当官からは、令和二年度の刀剣・和鉄文化の保存振興に関する概算要求状況について説明があった。これによれば、予算の大幅な増額が期待され、特に文化財修理の伝統技術等継承事業は関係団体が実施する各種研修(公募)への大きな支援が見込まれる。

席上、発言を求め

「好評だった刀剣職方による「芸術を創る刃物」



名刀鑑賞会も用意された刀剣議連総会

られた甘利明共同代表からは「日本刀はほかの美術品に比べ、その価格評価がきわめて低い。これは海外での認知度が不十分せいだ」との指摘があった。日本刀のブランド化をテーマの一つに掲げる同議連だが、各分野での国際交流がますます活発になる中で、その活動を支持して推進すべき業界独自の努力も求められている。

(一社)日本鉄鋼協会の「鉄の技術と歴史」研究フォーラムでは十一月三十日、東京工業大学において講演会「芸術を創る刃物」を開催した。

これは、今や海外からも高い評価を得ている「日本の刃物」を更に上げ、「なぜよ切れるのか」をテーマに開催してきたシリーズの一環。過去五回にわたり、刃物に関連する多彩な分野の方々が講演され、日本の各種刃物の持ち味と本質を明らかにしてきた。

今回は、仏師の田中慎二氏とともに彫金作家の泉公土郎氏と研師の池田長正氏が登壇し、お二人は「彫金の伝統技法と刀装具の見方」について講演と彫技の実演を行った。約七十名の聴衆の多くは鉄に



「芸術を創る刃物」のディスカッション風景

日本刀の
江州屋
名品・名刀を販売

店主 **小暮 昇一**

〒529-1131
滋賀県愛知郡愛荘町香掛80-1
TEL 0749-14212736
携帯 090-1316217641
http://www.goushuya-nihontou.com

アオバ企画(株)
高橋 一

〒130-0012
墨田区大平四一九二一三〇八
TEL 〇三三六二二二二三
FAX 〇三三六二二二二五
メール aobakk@pjs-so-net.ne.jp

刀剣・小道具・甲冑武具
目白 **飯田高遠堂**
代表取締役 飯田慶雄

〒161-0033
東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3951-3312
FAX 03-3951-3615
http://www.iidakoendo.com

日本刀・刀装具
販売・買取
美術刀剣松本
松本 富夫・松本 義行

TEL.04-7122-1122
千葉県野田市清水199-1 刀剣松本 検索

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
日本の伝統文化を彩る
JAPAN SWORD CO., LTD.
(株) 日本刀剣
伊波賢一 Ken-ichi Inami

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1
TEL 03-3434-4321
FAX 03-3434-4324

「刀剣評価鑑定士」認定試験問題の監修結果①

既報の通り、「刀剣評価鑑定士」認定試験問題については、該当する事項を警察庁の担当部署にて監修願えないか依頼し、承諾を頂いていたが、このほど作業を終えて回答を得た。そこで、「警察庁における修正意見」を加えた試験問題例を数回に分けて紹介する(二重線、太字は修正箇所)。

■銃砲刀剣類所持等取締法などに関する問題
[問題] 登録を受けた銃砲又は刀剣類を譲渡あるは譲り受け若しくは相続により取得した場合、()に所有者変更届その旨を当該登録の事務を行った都道府県の教育委員会に提出し届け出なければならない。空欄に当てはまる正しい語句を下から選びなさい。

①すみやか ②20日以内 正解 ②
[問題] 登録後のを受けた刀剣類を試験、研究、研まもも若しくは修理のため、または又は公衆の観覧に供するため貸付貸し付け、または又は保管の委託をした場合に限りにおいては、所有者変更届をなくともよい等の届け出を要しない。○か×か。 正解 ○

[問題] 「銃砲刀剣類登録証」が付いている刀剣類を購入または又は譲り受けた場合は、所轄の警察署とその刀剣類がの登録されているの事務を行った都道府県教育委員会宛に、20日以内に「銃砲刀剣類等所有者変更届出書」を提出しなければならない。○か×か。 正解 ×

[問題] 刀剣類と模造刀剣類に関する銃刀法上の規程定で、正しいのは次のどれか。

- ①刀剣類は許可又は登録なく所持することを禁じられている。模造刀剣類は携帯することを自体は許されている。
②刀剣類は許可又は登録なく所持することを禁

じられている。模造刀剣類も業務その他正当な理由による場合を除いては携帯することを禁じられている。 正解 ②

[問題] 次のうち、いずれが正しいか。

①登録証を亡失し、もも若しくは盗み取られ、または又はそれを登録証が滅失した場合には、速やかにその旨を住所地を管轄する警察署に申も届け出、登録証の再交付を受けなければならない。

②登録証を亡失し、もも若しくは盗み取られ、または又はそれを登録証が滅失した場合には、速やかに都道府県のその旨を登録の事務を行った都道府県教育委員会に申も届け出、登録証の再交付を受けなければならない。 正解 ②

■古物営業法などに関する問題

[問題] 重要品触れに係る書面を保存しなくてはならない期間はどれだけか。次の中から正しいものを選びなさい。

- ①到達した日から3年間 正解 ②
②半年到達した日から6ヶ月間

[問題] 買い受け、もも若しくは交換するため、または又は売却もも若しくは交換の委託を受けるため、古物商が古物商以外の者から古物を受け取ることができる場所はどこか(仮設店舗において古物営業を営む場合において、あらかじめ、その日時及び場所を、その場所を管轄する公安委員会に届け出たときを除く)。次の中から正しいものを選びなさい。

- ①古物商の営業所または又は取引の相手方の住所もも若しくは居所
②古物商の営業所または又は取引の相手方が指

定した場所 正解 ①

[問題] 古物商が、日本刀古物を買受け、もも若しくは交換し、または又は売却もも若しくは交換の委託を受けようとするときは、相手方の真偽を確認するため、住所、氏名、職業持ま及び年齢を確認しなければならないが、その義務が免除される金額対価の総額はいくらか。次の中から正しいものを選びなさい。

- ①1万円以下未満 ②3万円以下未満 正解 ①

[問題] 盗難または遺失の時から十年を経過した場合には、古物商が買い受け、または又は交換した古物のうちに盗品または又は遺失物があった場合においては、盗難又は遺失の時から1年を経過していなければ、その古物商が当該盗品または又は遺失物を公の市場において、または又は同種の物を取り扱う営業者から善意で譲り受けた場合においても、被害者または又は遺失主は、古物商に対し、これを無償で回復することを求めることができるか。次の中から正しいものを選びなさい。

- ①無償で回復することを求めることができる
②無償では回復することを求めることができない 正解 ①

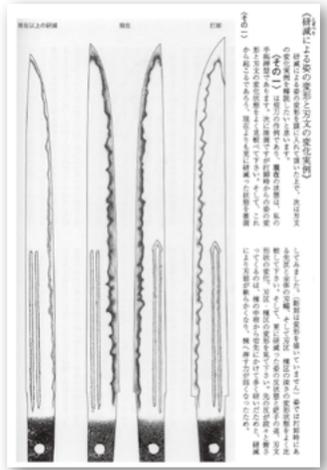
[問題] いわゆる古物商の防犯三大義務とは、「取引相手の確認義務」「不正品の申告義務」「帳簿等への記録記載等及びその保存義務」である。○か×か。 正解 ○

※古物営業法で古物商・古物市場主に課している様々な義務のうち、「取引相手の確認義務」「不正品の申告義務」「帳簿等への記載等及びその保存義務」の義務を「古物商の防犯三大義務」として、過去に通達で示している。

ブック・レビュー BOOK REVIEW

鑑定の基本と本質に向き合い、真摯に刀を学ぶ 『刀の鑑賞規範』 中原信夫著 定価二万円(税込)

令和元年九月、一冊の刀剣解説書が刊行された。『刀の鑑賞規範』:著者は刀剣研究者・鑑定会講師として活躍している中原信夫氏。師は村上孝介氏で、あの本阿弥光遜氏の孫弟子に当たる直系鑑定家であり、かつて刀剣機関誌』と



えん」を発行し、当業界では知られた存在だ。その彼が今回著した『刀の鑑賞規範』は、過去に類例を見ないほどの斬新さと説得力を持った内容だ。刀剣鑑定の基本と本質を押しさえつつ、より深くそして広範囲に、身に付けるべき項目と要点・視点が詳しく書かれている。これまでもあり触れられることなかった偽物や再刃を磨き上げた所作りやプロセス、現象、状態に至るまでを詳細に網羅している。また、わかりや

すく伝えるために写真、押形、そして図解を豊富に掲載して、視覚的に理解できるように構成されている。刀の正体を知る上で、これほどの内容を持った解説書は他に類例がなく、まさに「刀の解体新書」とも言えるものだ。一般に出回っている刀や刀工を調べたい、類の刀剣書ではない。

解説のコンセプトは、刀の出来・不出来もさることながら、刀の状態の変化とそのプロセスを探り、作位や刀工名に左右されることなく現状の品質を見極めることにある。それも論理的かつ物理的、事実と現実の整合性に基いた解説であり、見た目やイメージ、思い込み、既成概念

城の専門家が戦国史のディテールを再現する 『戦国の軍隊—現代軍事学から見た戦国大名の軍勢』 西股総生著 学研パブリッシング 定価(本体一、四〇〇円十税)

戦国武将前田利家は、槍の名手であったという。人呼んで「槍の又左衛門」である。一体どんな槍を使用していたのか。形状は、長さは、と問われると全く回答できない。

「これを再現してスタジオで紹介すれば、盛り上がりませぬ。絶句するよな要望...」この顛末はテレビでご覧いただくとして。

想するが、中世の城は石垣などない場合がほとんどで、どこからどこまでが城なのかさえ、ほぼわからない。西股氏は数々の現場に分け入り、マシなどに注意しながら歩き回り、かつてあった郭(曲輪、空堀、縦堀の所在を確かめ、どんな形状の城だったのかを調査。縄張図という独特の城郭図面にまとめ、「城の設計者はどんな目論見で、いかなる敵に備えたのか」を推理し、戦国史を再考。

ところがいつの間にか会社を辞め、「縄張りリスト」を自称し、歴女に城ツアーを案内し、描きためた縄張図を基に城と戦国史の著書を出している。今回の本もその一冊である。夏の暑い日、卒論で悩んでいた筆者と、修士論文が書けずにいた西股氏と、もう一人の、やはり修論完成間際に頓挫した先輩と三人でしようもない話をしていた。目白の志村という和風喫茶である。イチゴのかき氷を食べていた西股氏が「ふと」あー、人生もこんな風にバラ色だったらいいのになあ...」と言った。西股さん、人生、今はバラ色ですか?



某テレビ局の番組スタッフが、「前田利家の槍を再現したいのですが、ご協力をいただけないでしょうか」「彼は六三〇センチの槍の長さや武装をテーマにした本があったなあ...。あった!」西股総生『戦国の軍隊』。戦国武将の兵種別編成と軍役、武器・武具の使用の仕方、そして槍の柄の長さが述べられている。足軽が三間約五四〇センチの長い槍を使用し、威力を発揮したという。西股氏の得意分野は中世の城である。城といえば、石垣と水堀、天守閣がある城を連

さて、この西股氏、筆者も在籍した安田元久先生のゼミの先輩である。届いた年賀状に「今年、日本全国の城郭を制覇!」等とあるのを見るたび、今も発掘現場に行っているのだろうかと思っていた。

西股総生(にしまた・ふさお) 一九六一年北海道生まれ。学習院大学文学部史学科卒業。同大学院史学専攻・博士前期課程修了。目黒区教育委員会嘱託、三鷹市史跡調査会、株式会社武蔵文化財研究所を経て現在フリー。城郭史料学会・中世城郭研究会・日本考古学協会会員。著書に『軍事分析—戦国の城』(学研パブリッシング)、『日本名城百選』(小学館)などがある。

刀 剣 界

イベント・レポート

新生・尚友会が美術倶楽部で鑑賞会を開催

十一月十六日、東京美術倶楽部において、刀装具の研究会・尚友会が開かれました。前会長橋本晴夫氏が六月十三日に他界され、その悲しみの中、尚友会存続のために多くの方からご心配の声を頂きました。新たに葉山修陽会長の下、深町正男氏が引き続き副会長に就任、浜崎昌朗氏・吉野太一氏・池田長正氏・高田知己氏・星野秀一氏の五名が新監事に就任して新体制が発足し、第一回目の鑑賞会開催の運びとなりました。

何と八十二名もの多くの方々にご参集いただき、十三時に開会となりました。まず最初に葉山会長のご挨拶で橋本前会長のご冥福を祈り、黙祷が捧げられました。その後、鑑賞会が始まりました。葉山会長最初のテーマは「大名家伝来、折紙付きの後藤家」で、多くの名品が出品されました。綺麗な時絵の段箱に納まっている蜂須賀家伝来品・鍋島家伝来品・松平家伝来品・島津家伝来品・鴻池家伝来品など六十点以上で、その内容は家彫りらしく品格を備えた優品ばかりでした。これだけの点数を一堂に集めることができたのも多くの皆さまのお力添えがあったことと深く感謝申し上げます。



(齋藤恒)

盛会となった尚友会の鑑賞会

今後尚友会は、会場を従来の山の上ホテルから東京美術倶楽部に移し、春と秋の年二回、鑑賞会を開催してまいります。刀剣商はもとより多くのコレクターの方にご参加いただき刀装具のさらなる普及啓発活動を行ってまいります。

72回目の清磨追善と鑑賞会開く

秋の暖かな日差しに包まれた十一月十四日は、江戸三作の一人に数えられ、四谷正宗とうたわれた幕末の名工、山浦清磨の命日に当たります。

清磨会は今年も四谷・宗福寺において開催され、約三十名の方が出席されました。歴史ある清磨会は七十二回を迎えました。

作品は清磨が三振、一門の山浦真雄が二振、栗原信秀が五振、鈴木正雄が二振、斎藤清人が二振、ほかに五島正隆が二振、羽山田真と荒木清重がそれぞれ一振並びました。

清磨の高弟栗原信秀と会津十一代和泉守兼定の研究をされ、その第一人者でいらっしゃる新潟県三条市在住の外山登さんに本年もお越しいただきました。一昨年の栗原信秀、昨年の会津兼定に続き、今年も重要刀剣に新指定されたばかりの栗原信秀を二振のほか、斎藤清人・五島正隆・大和守元平・細川正守の名品をお持ちいただきました。

清磨は沸が強く、全体に金筋・砂流しが入り動きが豊富であり、一方の信秀は匂がちに沸が濃くなる点や彫物が巧みであること。三条の阿部昭忠氏は彫物が上手であり、出品刀の細川正守には信秀の彫物を模した矜羯羅・制蛇迎の二童子図を阿部氏が施していること。ほかに、栗原彦三郎昭秀翁のお話などを解説いただきました。

山浦清磨は嘉永七(同安政元年)のこの日に四十二歳で自刃して亡くなりました。斎藤昌磨や普勝伊十郎らによって建立された墓碑は翌安政二年十月二日の安政大地震により倒壊し、その後に散逸してしまいました。現在の墓碑は明治二十一年に桜井正次刀匠らによって再建されたもので「大道院義心居士信州小諸人世俗号四谷正宗 俗名山浦環 刀名源清磨 安政元甲寅年十一月五日没行年四十二歳」と刻されています。

位牌に「大道院義心居士霊位 安政元甲寅年十一月五日」とあり、どちらも十四日ではなく五日となっているのは、明治に再建された際に誤ったことによる。清磨の墓は現在本殿の正面に据えられていますが、元来の位置は墓地の中で、ちょうど本殿の裏に当たり柿の木の下にあり、と伝えられています。行ってみると今年は暖かい日が続いたせいか、小さいながらたわわに実っていました。まるで清磨さんが微笑んでいるように感じられました。(賞賛亮典)



第72回清磨会に参集された皆さん

宮入小左衛門行平氏が高島屋で個展を開催

去る十一月二十日(水)から二十六日(火)まで、日本橋高島屋S.C.本館六階美術画廊にて、「光抱いて―刀工 宮入小左衛門行平展―」が開催された。

本展は同画廊で平成十五年からはほぼ三年ごとに開催される六回目の恒例新作発表展で、会場には併せて大小刀・脇指・短刀、小刀ほか小物類など、三十点近くの作品が展示販売された。

二十三日のギャラリートークには、あふれんばかりのお客さまが会場を訪れ、毎回展示を手伝うお弟子さん三刀工(川崎晶平・上山輝平・根津秀平)の作品も展示され、賑やかかつ盛大な催事となった。(伊波賢一)

親方の個展に参加して

親方の最新作の展示・販売と併せ、今回は同会場で一門の作品も一振ずつ賛助出品をさせて頂きました。

展示された親方の作品には外装付きも半分近くあり、刀身を作り

島田市博物館にて「鉄芸」鑑賞・実演会を開催

十一月二十三日、島田市博物館で開催されている特別展「音にきこゆる4・島田の刀鍛冶とそのルーツ」において日本刀文化の普及・啓発を目的に活動する若手刀職による団体「鉄芸」の実演会と名刀鑑賞会が行われた。

「島田の刀鍛冶のルーツに迫る」と題し、四年間にわたって開催されてきた同展では第一回から「鉄芸」が共催で鑑賞会・実演会を開催してきたが、今年も鑑賞会と講演の後に刀剣研磨と小刀製作のワークショップが開催された。事前予約制の鑑賞会は募集開始からすぐに満員になるなど、昨今



子供たちにも人気の小刀作り

ためることも大変ですが、外装を付けるとなればさらに膨大な時間も費用も掛かり、大変であったろうと思います。私も最近、外装の注文を併せて頂く機会が増え、外装製作の大変さ・難しさが少しわかってきたので、なおよさそう感じました。

今回、私は準備と撤収中心に関わり、会場にはあまりおりませんでしたが、来場されたお客さまの反応等はよくわかりませんが、岡山高島屋さんで開催された昨年の「お守り刀展」では、外装付きの作品の方が好まれる傾向にあるように感じられました。そこで、なるべく外装付きの作品にしようというも考えてはいますが、実際には注文でない限り、なかなか実現できないのが現状です。

平成から令和へと元号が変わり、古き良き伝統や文化を見直す意識の変化が起り始めているように感じますし、今年は東京オリピックも開催され、海外の人々にも日本の伝統や文化がますます

の刀剣ブームの影響をうかがわせ、参加者は平安末期から現代までの備前鍛冶の名品に見入った。ワークショップでは子供たちや鑑賞会に参加した女性たちからの申し込みが殺到し、開始五分で新規申し込みを制限するほどの大盛況となった。(飯田慶雄)

注目されるでしょうから、日本刀の世界もいろいろな機会を捉えて、全世界に広くアピールし続けていくことが重要になるでしょう。親方の個展に出品させて頂いただけでも大変うれしいことでしたが、その上、買っていただけことは予想外であり、大変な幸運でした。

これからも、展覧会等を通じて日本刀の魅力も多くの方々に伝えられるように、これまで以上に作刀に情熱を注いでいきたいと思えます。(上山輝平)

トークショーと漫画で長船の魅力を発信

刀剣ゆかりの地・瀬戸内市長船町地区をPRするイベントが十二月十四・十五の両日、東京都港区の県アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」で開催された。長船が作中に登場する漫画「刀使ノ巫女」の複製原画の展示やトークショーを通じて、長船や刀の魅力を発信しようというもの。

漫画の作者・さいとー栄さんの協力で、刀を手にし生き生きとした表情の女性たちが描かれた複製原画二四点を展示した。両日ともファンのいわゆる「とじとも」が詰めかけ、写真を撮ったり、漫画談議に花を咲かせたりしていた。さいとーさんがイベントのために用意した登場人物のイラスト入りポストカードも人気を集めた。

十四日は、当組合の深海信彦理事長も招かれ、刀ガールとして活動するアイドル・杏ちゃん、武久頭也瀬戸内市長とともに公開トークショーに参加した。抽選で選ばれた約三十人の聴衆を前に、深海信彦理事長は「備前刀が最も栄えたのは鎌倉時代中期から後期で、



トークショーで若者に語りかける深海信彦理事長



トークショーに臨む宮入刀匠(撮影/トム岸田)

催事情報

■狭山市博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 ☎04-2955-3804
http://sayama-city-museum.com/

冬期企画展「日本刀の美 研師 森井鐵太郎～技をつたえる～」

日本刀は、美しくよく斬れることから世界的にも高く評価されています。その製作方法は古来より培われていた日本の伝統技術の集大成といえ、武器としてだけではなく、歴史的な美術品として、今なお見る人々を魅了しています。本展では、刀身の地鉄と刃文を美しく見せるための「研ぎ」に焦点を当て、狭山市在住の研師、森井鐵太郎氏が研磨した刀剣を展示します。また、職人たちによる刀の製作過程や作業の様子も併せて紹介します。



〈職人の技〉要予約申込

①研師(下地研ぎ) 1月19日 森井鐵太郎

②刀匠 2月2日 石田國壽

③研師(仕上研ぎ) 2月2日 森井鐵太郎・水田吉政

④鞘師 2月9日 森井敦央

〈ギャラリートーク〉1月19日 森井鐵太郎

会期: 1月11日(出)~2月16日(日)

■九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 ☎092-918-2807
https://www.kyuhaku.jp/

特集展示「刀剣ことはじめ—刀剣ワールド財団と九博の名刀—」

空前の刀剣ブームは、平成から令和の御代となった今もなお続いています。当館では、平成27年に開館以来初めてとなる刀剣の特集展示を行い、大きな反響を得ました。その後も刀剣の展示についてのご要望が多数寄せられてきました。この度、国内有数の刀剣コレクションを所有する刀剣ワールド財団のご協力を得て、5年ぶりとなる刀剣の特集展示を行います。刀剣ワールド財団の膨大なご所蔵品の中から、特に優れた作品を中心に「九州初お目見え」となる名刀の数々を、これまで当館が収集してきた代表的な刀剣とともにご紹介します。



人気の一方で、とかく「難しい」「近寄りづらい」と思われがちな刀剣の世界。今回の展示では、それぞれの作品の見どころや来歴などをご紹介するだけでなく、刀剣を取り巻く独特な用語についても、わかりやすく解説します。美しく輝き、見る者を魅きつけてやまない刀剣の世界の奥深い魅力を、ぜひお楽しみください。

〈展示構成〉

第1章 山城 来派とその末裔たち

第2章 備前 一文字派

第3章 備前 長船派

会期: 1月1日(水・祝)~2月24日(月・休)

■佐野美術館

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43
☎055-975-7278 https://www.sanobi.or.jp/

名刀への道

日本刀が完成したのは、平安時代後期と考えられています。この時代は刀剣だけでなく、日本の自然を描いたやまと絵、貴族文化を反映した和様彫刻、かな文字で編まれた物語など、さまざまな分野で日本独自の表現が生まれ、国内に広まってきました。新しいものを生み出す時代の空気が、大陸からもたらされた直刀から脱し、反りや鎬といった特徴を持つ日本刀の誕生に一役買ったのかもしれない。



日本刀誕生期には、伯耆の安綱、豊後の行平、備前の包平などの名だたる刀工が活躍しました。それらの刀剣には、誕生間もない時代特有の力強さがあふれ、今でも多くの人々を惹きつけています。本展ではこれらの名工が活躍した平安時代後期から鎌倉時代にかけての刀剣を中心にご覧いただけます。

また、12世紀以前に日本で作られていた刀剣を、直刀や敵手刀といった現存する刀剣をもとに概観し、日本刀誕生までの道のりをご紹介します。

会期: 1月7日(火)~2月16日(日)

■福島県文化財センター白河館(まほろん)

〒961-0835 福島県白河市白坂一里段86 ☎0248-21-0700
http://www.mahoron.fcp.or.jp/

企画展「ふくしま鉄ものがたり～鉄滓の山から読みとく歴史～」

福島県域は、かつて古代律令国家を代表する鉄生産地でした。とりわけ、浜通り地方には7世紀後半から10世紀前半までの製鉄遺跡が集中しており、この地方の鉄が蝦夷政策(戦争)の物資として大きな役割を担っていたと考えられています。



企画展では、列島各地の製鉄技術の影響を受けながら、福島県域独自の技術へと革新した実態を考古学や金属学の立場から解き明かします。

会期: 2月1日(出)~3月29日(日)

シンポジウム「鉄の道をたどる」: 3月7日(出)・8日(日)

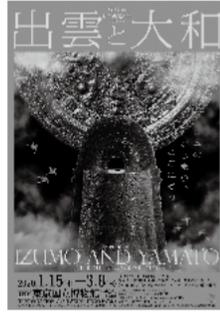
会場によって休館日が異なります。事前に確認の上、お出かけください。

■東京国立博物館

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 ☎03-5777-8600(ハローダイヤル)
https://www.tnm.jp/

日本書紀成立1300年 特別展「出雲と大和」

令和2年(2020)は、わが国最古の正史『日本書紀』が編纂された養老4年(720)から1300年という記念すべき年です。その冒頭に記された国譲り神話によると、出雲大社に鎮座するオオクニヌシは「幽」、すなわち人間の能力を超えた世界、いわば神々や祭祀の世界を司るとされています。一方で、天皇は大和の地において「顕」、すなわち目に見える現実世界、政治の世界を司るとされています。つまり、古代において出雲と大和はそれぞれ「幽」と「顕」を象徴する場所として、重要な役割を担っていたのです。



「幽」と「顕」を象徴する地、島根県と奈良県が当館と共同で展覧会を開催し、出雲と大和の名品を一堂に集めて、古代日本の成立やその特質に迫ります。

〈展覧会の構成〉

日本書紀とは?

第1章: 巨大本殿 出雲大社

第2章: 出雲 古代祭祀の源流

第3章: 大和 王権誕生の地

第4章: 仏と政(まつりごと)

会期: 前期展示1月15日(水)~2月9日(日)

後期展示2月11日(火・祝)~3月8日(日)

■大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪府中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728
http://www.mus-his.city.osaka.jp/

特別展「猿描き狙仙三兄弟—鶏の若冲、カエルの奉時も」



諫鼓鶏図
森陽信筆

猿猴図
森狙仙筆

江戸時代の大坂で名高い絵師の一人に、森狙仙(1747?~1821)がいます。彼は「猿描き狙仙」ともいわれ、「もふもふ感」あふれるリアルな動物画を得意としました。狙仙には二人の兄、陽信(1736?~1808?)と周峰(1738~1823)がおり、当時は著名な絵師でした。その二人の兄は狩野派の描法を受け継ぎながらも、時には見る者に笑みをもたらす愉快な作品も残しています。

狙仙と同時代には、鶏の伊藤若冲、虎の岸駒、蛙の松本奉時、戯画の耳鳥斎など一芸に秀でた画家が現れました。本展では、猿の絵で名高い狙仙にちなみ、彼らのお家芸も紹介します。

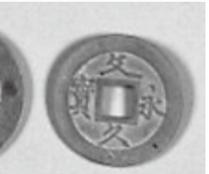
これまで狙仙三兄弟を取り上げた展覧会は開催されることがなく、本展覧会が史上初の企画となります。若冲コレクションで有名なJ・プライス氏をはじめ、海外でも高く評価される狙仙の作品、そして大坂や京都の動物絵画を数多くご覧いただける好機です。

会期: 2月26日(水)~4月5日(日)

■江戸東京博物館

墨田区横綱1-4-1 ☎03-3626-9974 https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/

特別展「江戸ものづくり列伝 —ニッポンの美は職人の技と心に宿る—」



文久永宝母銭と蓮花図鐔 いづれも府川一則(初代)作

日本の伝統美術は、日本人の暮らしとともにありました。四季折々の生活シーンに応じて配される建具や調度品は、人々に潤いと彩りを与えました。豊かな遊び心と繊細な美意識—それを作り上げてきたのが、「ものづくり」に生きる職人たちです。

本展では、特色のある5人の名工たちを取り上げます。また、ベニス東洋美術館所蔵「バルディコレクション」の日本初公開をはじめ、当館の所蔵資料を中心に、江戸東京で活躍した職人たちの仕事と人生に光を当ててまいります。

【第1章】伯爵が愛したニッポン

—初来日 バルディコレクション—

【第2章】武士の都のものづくり

【第3章】江戸の時絵師 羊遊斎と是真

【第4章】鬼才の陶工・三浦乾也と隅田川のやきもの

【第5章】府川一則—北斎の愛弟子が歩んだ金工の道—

【第6章】大正昭和に生きた江戸の技—小林礫斎のミニチュア工芸—

会期: 2月8日(出)~4月5日(日)

刀 劍 界

令和2年1月15日発行(隔月刊)

令和2年(2020)

謹 賀 新 年

本年もよろしくお願ひ申し上げます

掲載は申し込み順です

刀剣・小道具・鎧 刀剣杉田
代表 杉田 侑司
豊島区池袋2-49-15
TEL 03-33980011
FAX 03-33980114
Eメール info@token-net.com

飯田高遠堂
飯田 慶雄
東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3951-3312
FAX 03-3951-3312
URL http://www.idakendo.com

高島 吉童
代表 高島 吉童
東京都北区滝野川7-16-16
TEL 03-53394111
FAX 03-53394111
URL http://www.premico.jp

株式会社 刀剣柴田
柴田 光隆
〒104-0061 東京都中央区銀座5-16-18
TEL 03-35573128
FAX 03-35573128
URL http://www.tokenshita.co.jp

つるぎの屋
冥賀 亮吉
東京都北区西ヶ原4-35-11
TEL 03-35761175
FAX 03-35761175

株式会社 安東貿易
代表取締役 安東 孝恭
岡山県岡山市北区清輝橋2-1-32
TEL 086-22621125
URL http://www.katana-ando.co.jp

刀剣・書画・董 株式会社 和敬堂
土肥 富豊
新潟県長岡市柿町1-2-16
TEL 02558-33185110
FAX 02558-33185110
URL http://www.wakeido.com

古美術 飯塚 賢路
〒337-0015
さいたま市見沼区蓮沼1004-11
TEL 048-6881200
FAX 048-6881200

銀座誠友堂
中央区銀座5-1-1 銀座フアィブ2階
TEL 03-35558180
URL http://www.seiyudo.com

やしま 齋藤 雅久
東京都西東京市柳沢6-8-10
TEL 042-46315310
FAX 042-46317955

銀座 盛光堂
齋藤 恒
東京都中央区銀座8-11-14 盛光堂ビル
TEL 03-35569125
URL http://www.ginzaseikodo.com

福隆美術工芸
代表者 網取 譲一
東京都中央区八潮3-1-13 飯野ビル1階
TEL 03-62280149

株式会社 舟山堂
稲留 修一
東京都千代田区内神田2-4-13 石垣ビルB1
TEL/FAX 03-52971814

刀剣・新古美術品 株式会社 宝古堂美術
代表取締役 山田 雄一郎
東京都目黒区上目黒1-1-6
TEL 03-37921000

銀座日本刀ミュージアム 泰文堂
川島 貴敏
〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-16 岩月ビル2階
TEL 03-32891136
FAX 03-32891136
Eメール kabundo@heihon.com
URL https://www.kabundo.com

川越 優古堂
三浦 優子
埼玉県川越市新宿町1-9-13
TEL 049-2491070
FAX 049-2491070

刀剣販売月二回全国で展示即売会をしております
株式会社 コレクション情報
代表取締役社長 村上 和比子
岐阜県岐阜市西部本郷1-1-49
TEL 0581-2741196

株式会社 眞玄堂
東京都千代田区鍛冶町1-7-17
TEL 03-32521784
FAX 03-32521141
Eメール info@sanurainai.com

美術刀剣松山
福岡 光男
愛媛県松山市松前町3丁目3の1
TEL 089-9471517

刀剣・古美術・古書画 (株) 日宝
代表取締役 田澤 二郎
〒160-8321 東京都新宿区西新宿1-11-4
東京王百貨店 新宿店6階 刀剣サロン
TEL 03-53211530 (直通)

銀座長州屋
東京都中央区銀座3-10-4

御刀研磨処 楽屋で検索
研師 平井 隆守
岐阜県関市清水町
TEL/FAX 0575-2510928
Eメール onkaran@d6.dion.ne.jp
URL http://www.katanatogi.com

株式会社 金丸刀剣店
金丸 一三
東京都大田区東雪谷2-28-10
TEL 03-37281332

赤荻刀剣店
赤荻 稔
茨城県下妻市下妻乙172の5
TEL 0296-4412643

美術刀剣 勝武堂
東京都中野区本町4-145-10
TEL 03-33381130
URL https://www.shoubudo.co.jp

武蔵国の官美術刀剣骨董品居合道古式銃専門店
清水商会
代表取締役 清水 敏行
〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町3-17
TEL 048-6441347
FAX 048-6441347
URL http://www.suiruijusei.com/

株式会社 美術刀剣松本
松本 富夫
松本 義行
千葉県野田市清水1-19-11
TEL 04-71221122
Eメール info@ouken-hatsunotoji.jp

刀剣小道具 申買・売買・工作及び相談承ります。
株式会社 むさし屋
代表取締役 猿田 慎男
〒590-0025 大阪府堺市堺区向陵東町1-2-19
TEL 072-22511860
FAX 072-22511860
URL http://www.musashiya.co.jp

(株) 日本刀剣 伊波 賢一
東京都港区虎ノ門3-8-11
TEL 03-34344432

朝倉 万幸
朝倉 忠史
長野県長野市南黒町1-1-36
TEL 026-22810001

拵合せ致します
日本刀鞘師 水野 美行
〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町6-11
TEL 03-33531881
FAX 03-33531881

研誠堂
石塚 孝夫
〒113-0034 文京区湯島1-2-11
TEL 080-1547310055

刀剣研師 白木 良彦
〒135-0045 東京都江東区古石場1-2-17
TEL 03-36431322

奈良県無形文化財保持者
月山 貞利
〒633-0073 奈良県桜井市大字茅原228-18
TEL 0744143173
記念館 4213230

刀剣古銭・切手・古美術品 売買
(株) 城南堂古美術店
代表取締役 田中 勝憲
東京都目黒区上目黒4-31-10
TEL 03-37101677
携帯 090-32208196

札幌 横山美術
横山 忠司
〒060-0053 北海道札幌市中央区南三条東1-6
TEL 011-22511765
FAX 011-22511788

日本刀 販買取 有限会社 葵美術
代表取締役 鶴田 一成
渋谷区代々木1-54-16
TEL 03-33751553
Eメール info@aoi-japan.jp
URL http://www.aoi-japan.jp

武家文化の美と心
刀剣ギャラリー 樹林
代表 森野 幸男
〒803-0812 北九州市小倉北区室町2-2-15
TEL/FAX 093-56110449

刀剣の店 玉山名史刀
玉山 祐司・真敏
岡山市北区田町1-1-11
TEL/FAX 086-22714188
URL http://www.t-touken.com

笹原 俊和
〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地4375-11
携帯 090-3307814044

大和美術刀剣 大西 康一
さいたま市南区大谷口5277
TEL 048-87512122

美術刀剣小道具・武器類の売買・加工及び御相談承ります
大阪刀剣会 吉井 唯夫
大阪府中央区日本橋2-17-11
TEL 06-663112210
FAX 06-664415464

もちだ美術 持田 具宏
さいたま市中央区下落合1-9-4-447
TEL 048-85514792

(株) 丸英刀剣 銀座 丸英
栃木県小山市乙女3-17-30
東京都中央区銀座7-13-22 友野ビル1階
URL https://maruhidenken.com

刀剣鑑定書発行業務 一般社団法人 倉敷刀剣美術館
代表理事 佐藤 均
〒710-11101 岡山県倉敷市茶屋町173
TEL 086-442010066

株式会社 山城屋
代表取締役 嶋田 伸夫
東京都豊島区巣鴨1-21-8
TEL 03-394212701

服部美術店
東京都中央区日本橋3-5-12-2F
TEL 03-327415170

(株) 晴雅堂 清水 儀孝
代表取締役
〒111-0032 台東区浅草2-30-11
TEL 03-384213777